



2011年3月期 第1四半期 決算説明会

新型プレマシー「20S」



マツダ株式会社
2010年7月30日

1

本日の説明内容

- ➡ 総括
- ➡ 2011年3月期 第1四半期実績
- ➡ まとめ



2



総括

3

総括(1)

- ➔ 売上高は対前年35%増の5,780億円、営業利益は64億円
- ➔ フリーキャッシュフローは146億円の黒字
- ➔ グローバル販売台数は対前年5万4千台(21%)増加の31万7千台と好調なスタート
- ➔ マツダ2/デミオ、マツダ3/アクセラ、マツダ6/アテンザ等、主要モデルの販売好調により、主要国でシェアアップを達成
- ➔ 米欧の主要国で残存価値は引き続き向上
- ➔ 7月に新型プレマシーを国内導入
- ➔ 宇品第2工場の夜勤操業を再開(2直化)

4

総括(2)

- ➔ 中国ではマツダ3の生産を移管。主力車種の好調な販売により過去最高の販売台数を達成
- ➔ AAT製マツダ2は、タイ国内などで高い評価。新興国への取り組みも順調
- ➔ 反転攻勢に向け堅調な滑り出し
- ➔ 円高の進行はあるものの、上期及び通期見通し達成に向けた活動を強化

5



2011年3月期 第1四半期実績

6

2011年3月期 財務指標

(億円)	第1四半期		増/(減)	
	2011年3月期	2010年3月期	金額	YOY (%)
売上高	5,780	4,282	1,498	35 %
営業利益	64	(280)	344	-
経常利益	41	(327)	368	-
税引前利益	8	(335)	343	-
当期純利益	(21)	(215)	194	-
売上高営業利益率	1.1 %	(6.5) %	7.6 Pts	-
EPS(円/1株)	(1.2)	(16.4)	15.2	-

7

キャッシュフロー及び純有利子負債

(億円)	第1四半期		改善/ (悪化)
	2011年 3月期	2010年 3月期	
フリーキャッシュフロー	146	(98)	-
純有利子負債	3,667	5,469	1,802
純有利子負債 自己資本比率	73 %	137 %	64 Pts
自己資本比率	26 %	22 %	4 Pts

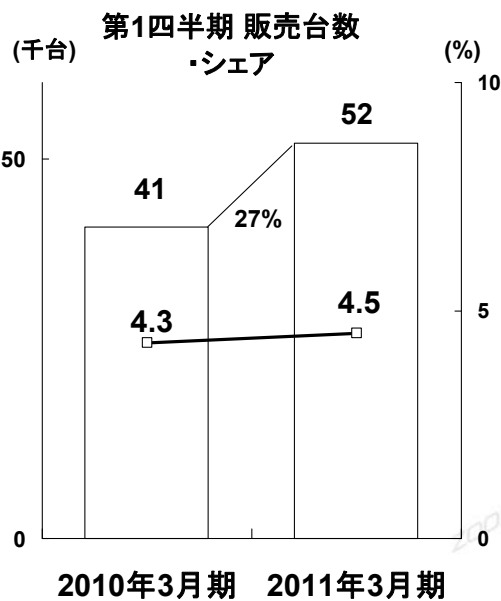
8

主要データ

	第1四半期		増/(減)	
	2011年 3月期	2010年 3月期	台数	YOY (%)
グローバル販売台数 (千台)				
日本	52	41	11	27 %
北米	90	74	16	21
内 米国	60	47	13	28
欧州	54	59	(5)	(8)
中国	53	41	12	28
その他市場	68	48	20	41
合計	317	263	54	21 %
為替レート				
US\$ / 円	92	97	(5)	
€ / 円	117	133	(16)	

9

日本

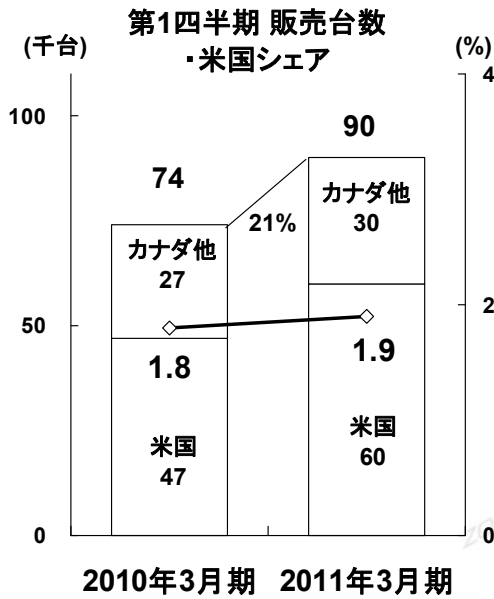


新型プレマシー

- デミオ・アクセラの好調により前年を27%上回り、シェアも0.2ポイントアップし、4.5%
- 7月に i-stop 搭載の新型プレマシーを導入

10

北米

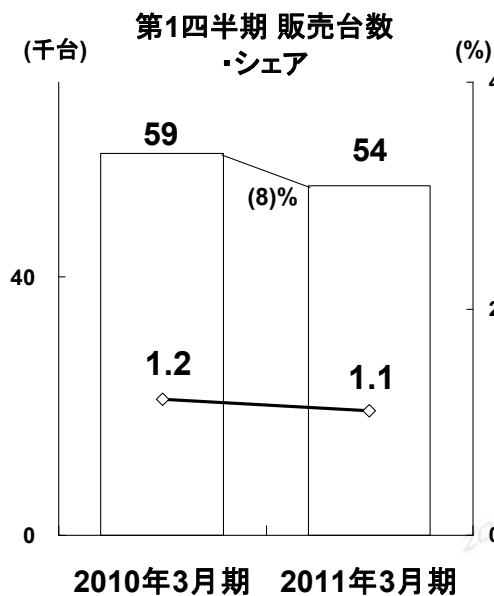


Mazda3

- ➔ 21%増の9万台を達成
- ➔ 米国で前年から0.1ポイントアップし、1.9%のシェアを獲得。ノンフリートのシェアは1.8%で過去最高
- ➔ フリート比率、インセンティブ抑制など、ブランド価値向上の方針は堅持。米国のマツダ3、CX-9の残存価値はセグメントトップ
- ➔ メキシコでも過去最高の台数及び、シェアを獲得

11

欧州

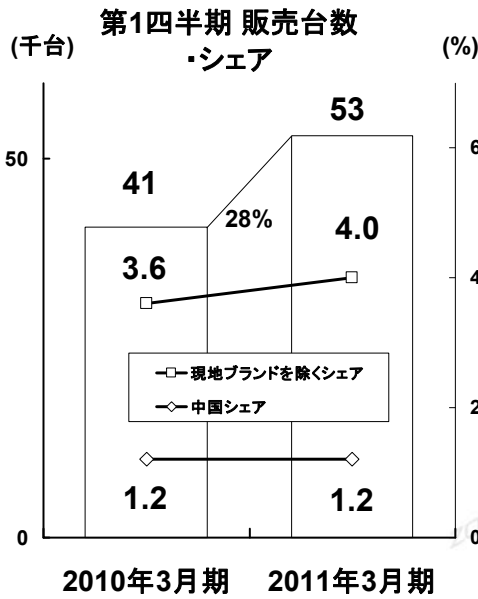


Mazda CX-7

- ➔ インセンティブを抑制し、ブランド価値向上は継続
- ➔ ドイツ・英国など主要国で、前年に対し残存価値向上と同時に、シェアアップ
- ➔ 英国では、5ヶ月連続で前年同月を上回る販売

12

中国

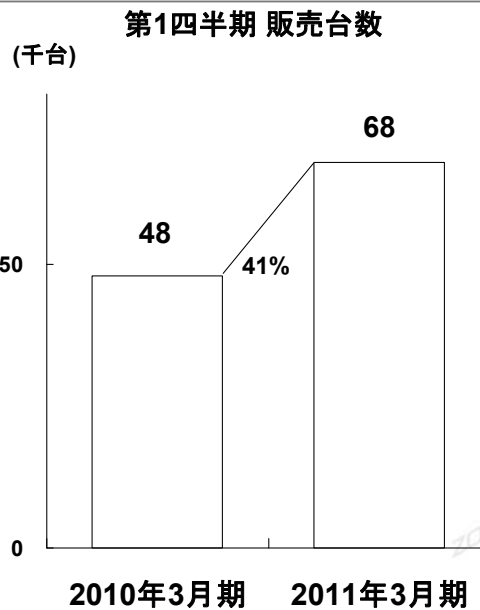


Mazda6睿翼

- ➔ マツダ2、マツダ3、マツダ6等主力車種の好調により、第1四半期として過去最高の販売となる5万3千台を達成
- ➔ マツダ3の生産を重慶から南京に移管し、需要増に対応
- ➔ 販売網も更に拡大

13

その他市場

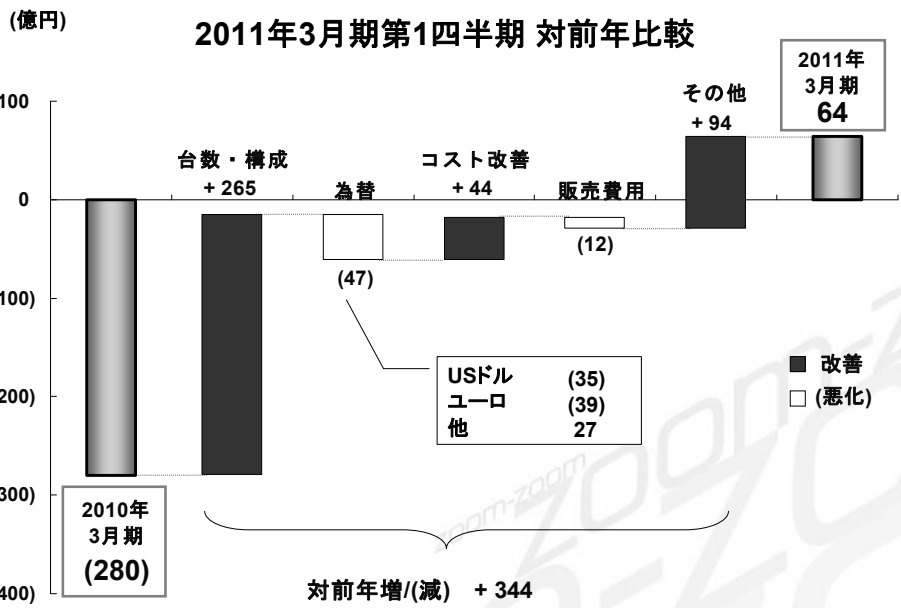


Mazda2 セダン AAT生産車両

- ➔ その他市場全体で41%増の6万8千台を達成
- ➔ オーストラリア、タイ、インドネシアでは過去最高の販売台数を達成。AAT生産のマツダ2の導入成功が大きく貢献

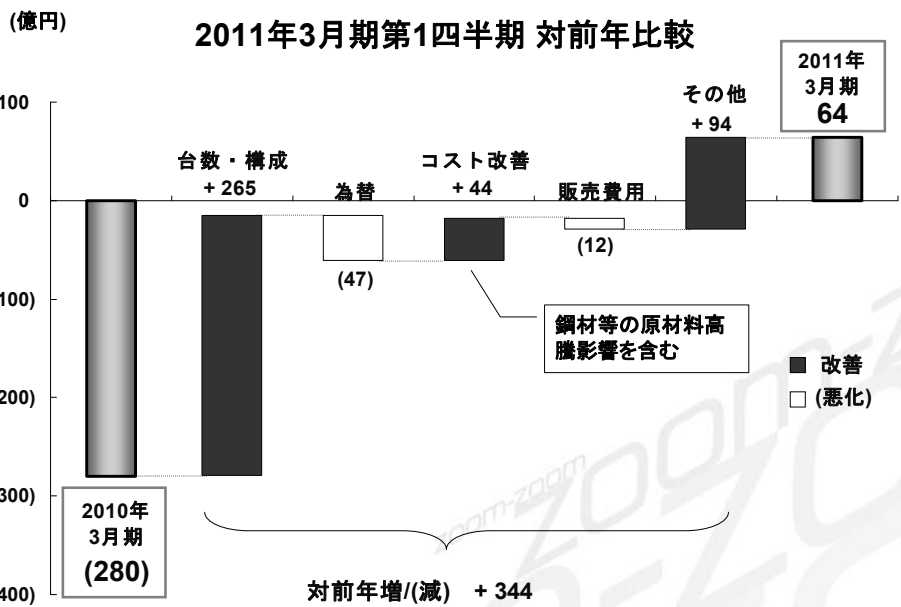
14

営業利益変動



15

営業利益変動



16

まとめ

- ➔ 円高及び、原材料高騰という厳しい外部環境の中、反転攻勢に向け堅調な滑り出し
- ➔ グローバル販売台数は対前年21%増加の31万7千台と、好調なスタート
- ➔ マツダ2 / デミオ、マツダ3/アクセラ、マツダ6/アテンザ等の主力車種は引き続き高い評価。主要国でシェアアップを達成するなど好調な販売を牽引
- ➔ 米欧の主要国で残存価値は引き続き向上
- ➔ 7月に新型プレマシーを国内導入
- ➔ 宇品第2工場の夜勤操業を再開(2直化)
- ➔ 中国のマツダ3生産移管、AAT製マツダ2の導入成功など新興国への取り組みも順調
- ➔ 2011年以降の環境パワートレイン/次世代商品開発は計画通り
- ➔ 上期及び通期見通し達成に向けた活動を強化

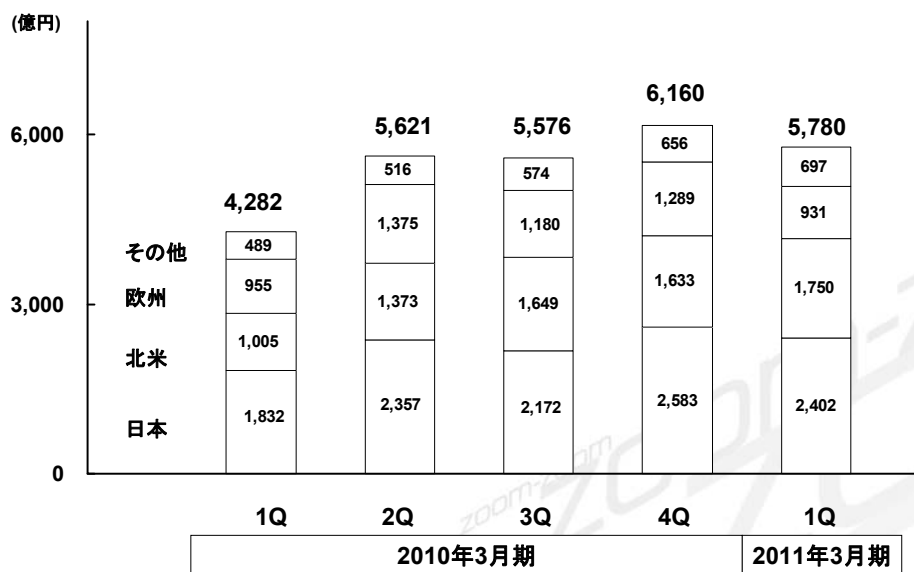
17



添付

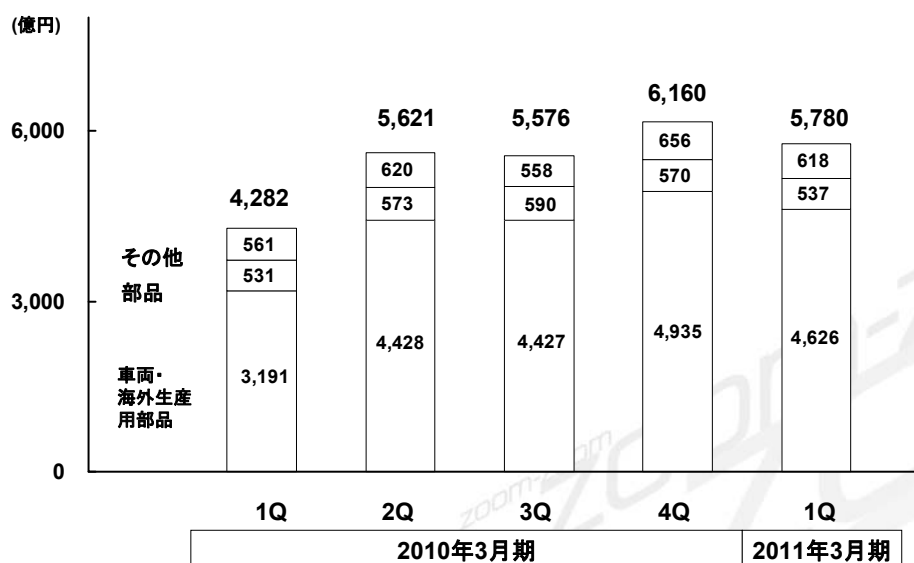
18

売上高 所在地別



19

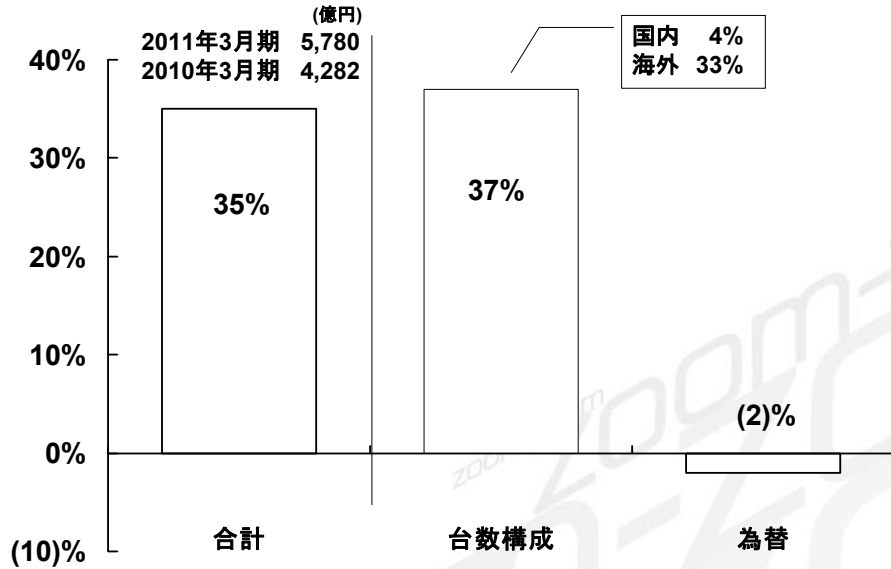
売上高 製品別



20

売上高変動内訳

2011年3月期 第1四半期 対前年比較



主要データ

	第1四半期		増/(減)	
	2011年 3月期	2010年 3月期	台数	YOY (%)
出荷台数 (千台)				
日本	54	42	12	26 %
北米	94	53	41	78
欧州	44	43	1	2
中国	6	2	4	190
その他市場	70	41	29	72
合計	268	181	87	48 %

主要データ

	2011年3月期			対前年 増/(減)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
グローバル販売台数 (千台)						
日本	126	84	210	21	(32)	(11)
北米	181	177	358	23	28	51
欧州	118	108	226	(5)	(8)	(13)
中国	108	122	230	23	11	34
その他市場	125	121	246	19	(3)	16
合計	658	612	1,270	81	(4)	77
連結出荷台数 (千台)						
日本	126	85	211	21	(29)	(8)
北米	168	196	364	42	18	60
欧州	95	125	220	(14)	7	(7)
中国	11	9	20	6	(1)	5
その他市場	127	113	240	41	1	42
合計	527	528	1,055	96	(4)	92
為替レート						
US\$ / 円	90	90	90	(6)	0	(3)
€ / 円	125	125	125	(8)	(4)	(6)

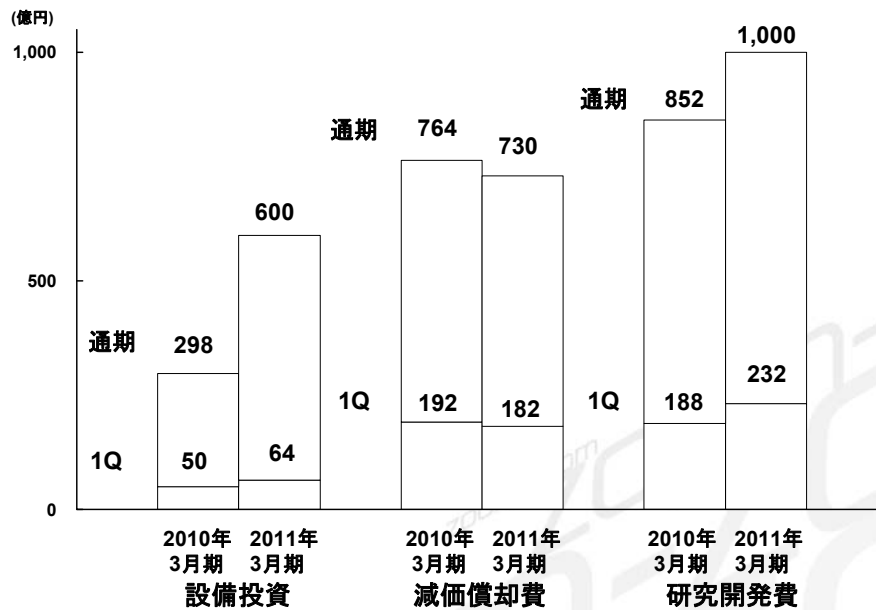
23

2011年3月期 財務指標

(億円)	2011年3月期			2010年	通期 増/(減)
	上期	下期	通期	3月期 通期	
売上高	11,300	11,400	22,700	21,639	1,061
営業利益	100	200	300	95	205
経常利益	80	210	290	46	244
税引前利益	30	180	210	(73)	283
当期純利益	10	40	50	(65)	115
売上高営業利益率	0.9 %	1.8 %	1.3 %	0.4 %	0.9 pts
EPS(円/1株)	0.6	2.2	2.8	(4.3)	7.1

24

主要データ



25

将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。

26